

# HATOプロジェクト

## 教員養成ならではの教職員PD

### (Professional Development) プログラム —PD 講座



#### 開発の経緯

HATOプロジェクト研修・交流支援部門では、2013（平成25）年度・2014（平成26）年度2年間の国立教員養成系大学・学部、ならびに教職課程を有する公・私立大学へのFD・SDに関するアンケート調査をふまえ、教員養成に勤務する教職員に固有かつ必須に求められる8つの力を抽出し、その8つの力について、それぞれ4つの下位項目を設定し、合計32の要素に構造化した。そのうえで、その8つの力を伸ばす講座として、現在8講座の開発・試行を続けている（次ページ参照）。またこの力量の構造化をふまえ、別に学内資源の有効活用（学部・大学院の授業の教職員の研修への活用）を検討している。

#### PDの定義

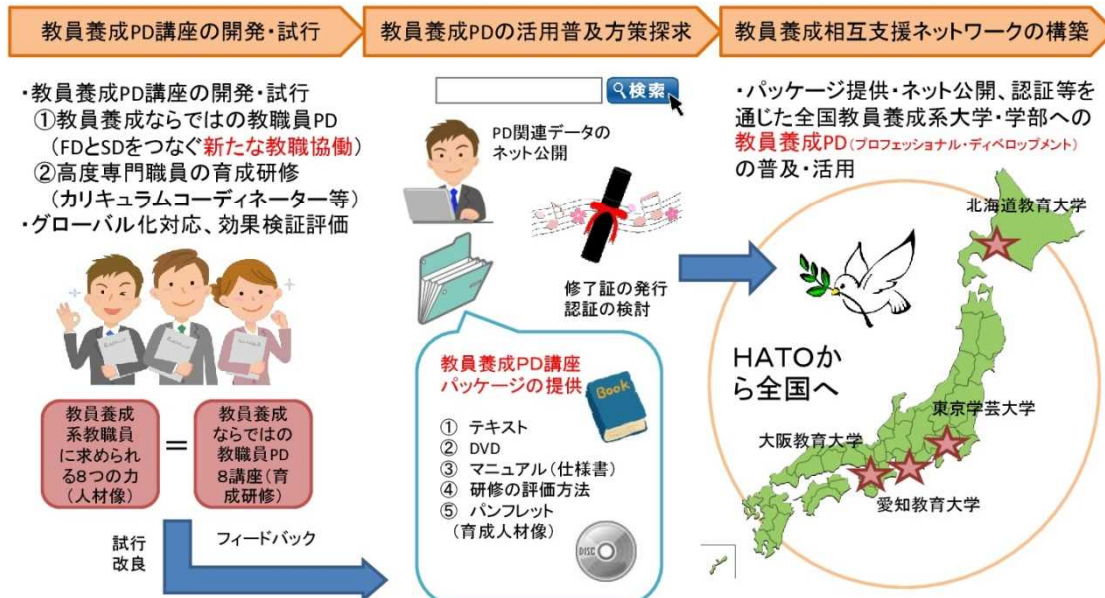
教職志望の学生の教育と学習支援を中心に置きながら、教師教育（教員養成教育と現職教員教育）ならびに教育支援者等の専門職性向上に携わる、教職協働による大学教職員（附属学校教員を含む）の職能開発、教職員の専門職化を目指した自律的・内発的な活動をPD（プロフェッショナルディベロップメント）と呼ぶ。

## 研修・交流支援部門 教員養成PDの開発と提供パッケージ HATO取り組み成果と普及イメージ



平成28年度・29年度

平成30年度以降



## 教員養成に携わる教職員の専門性開発に向けた力量の構造化（8つの力の下位各4項目）

<b>I 「大学人（教員養成系）として求められる力」</b>	<b>V 「教職志望の学生の気質と生活の特徴、学習スタイルを探る力」</b>
①国の教育政策・中教審の答申等に関する理解	①教職志望学生の気質と生活、学習スタイルの特徴に対する理解
②課程認定、教育職員免許法に関する理解	②学生の出口並びにキャリア教育に対する理解
③教員養成の歴史、国内外の教員養成をめぐる動向への理解	③学生の多様性（ダイバーシティ）に対する理解
④学習／研究、教育の主体者としての学生（教授・学習理論）に関する理解	④学生の特徴を生かした授業づくりに対する理解
<b>II 「学校教育と学校組織を知り、連携する力」</b>	<b>VI 「教員・職員と協働する力」</b>
①教育委員会等教育関係機関の組織・制度、連携への理解	①他の教員・職員と円滑なコミュニケーションができる
②附属学校の特徴・役割と連携・協働についての理解	②学内委員会業務等を通じて他の教員・職員と協働できる
③学校現場と児童・生徒の実際に対する理解	③教職指導関連で教員・職員としてそれぞれの役割を發揮できる
④教育改善、授業改善についての方法と理解	④大学の管理・運営面において教員・職員と協働できる
<b>III 「教員養成カリキュラムの実際を知り、創り変える力」</b>	<b>VII 「PD ネットワークを構築する力」</b>
①自大学の教員養成に関わる理念と方針、AP・CP・DPに対する理解	①近隣または分野ごとのFD・SD コンソーシアム等を知り、活用できる
②自大学の教員養成カリキュラムの現状と変遷に対する理解	②教室・講座単位での、または部課・係単位での授業改善、業務改善の組織づくりができる
③他大学の教員養成カリキュラムに対する理解	③多様な勤務形態（非常勤等）の構成員と協働できる
④教育学・教科教育・教科専門の教員の各々の視点と強みに対する理解	④学校等教育機関、教育支援機関（医療福祉施設等）との連携を企画できる
<b>IV 「教育実習関連科目の現状と在り方を変える力」</b>	<b>VIII 「評価・効果検証する力」</b>
①自大学の教育実習関連科目（教職実践演習等）の現状に対する理解	①教員養成の質保証が求められる背景を説明できる
②他大学の教育実習関連科目の現状に対する理解	②ポートフォリオやルーブリック等、多様な評価方法を活用できる
③国内外の教育実習のあり方に対する理解	③評価方法、効果検証の方法を学生や後進に指導できる
④海外教育演習（模擬授業等含む）の開発と運営に対する理解	④自らの業務を省察（セルフレビュー）し、改善できる

## 教員養成ならではの教職員 PD 講座（8講座）と各力量の対応関係

講座	講座	担当大学	下位項目	講師
第1講	大学における教員養成	東京学芸大学	I・III・IV	三石初雄特命教授
第2講	教員養成系大学における学生気質と学生指導の課題	東京学芸大学	III・IV・V	早坂めぐみ特命助教・岩田康之教授
第3講	附属学校の役割・特色、附属学校を活用した研修	北海道教育大学	II・III・IV	十枝内康隆准教授
第4講	「師範学校」と「大学」—近代教育と教員養成の「場」の問題	東京学芸大学	I・III・IV	岩田康之教授
第5講	「チーム学校」と教育支援	東京学芸大学	II・V・VI	松田恵示副学長
第6講	教員養成の多様性と「質」保証	東京学芸大学	III・IV・VII・VIII	佐藤千津教授
第7講	これからの大学での教員養成について考える	愛知教育大学	I・II・III・IV	中山弘之准教授
第8講	諸外国から見た日本の教員養成の現状と課題	大阪教育大学	I・II・VI・VII	入口豊理事・副学長ほか

	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII
第1講	◎		○	○				
第2講			○	○	◎			
第3講		◎	○	○				
第4講	○		◎	○				
第5講		◎			○	○		
第6講			○	○			○	◎
第7講	○	○	○	○				
第8講	○	○				○	○	

◎は中心となる力、○は対応する力

※なお、本ページ収録の力量や講座名は紙面の都合により一部節略の上記載した。